

個人山行

三国山脈：苗場山

- ◆日程 2020年8月1日(土)
 ◆メンバー L：OT, 他一名
 ◆天候 雨のち晴

関東甲信地方が梅雨明けするかどうかの微妙な天候だが、夏合宿前にひと登りするのならこの週末がベストだ。日帰りにはギリギリの遠さだが、まだ登ったことがなく、初夏の花々が評判の苗場山を選んだ。

車での道中、所々で雨が降っており、登山口の駐車場近くでも結構な雨量となっており、少々不安になった。駐車場にはすでに先行して入っている登山者の車が10台以上ある。予報も回復基調なので、登ることに決めた。

ガレた登山道が沢のようになっている。それ以外はぬかるみだ。お陰でなかなか進まない。他のパーティーに追い抜かれるが、急いでも雨の頂上に突っ込むだけだと言いつつゆっくりと進むことにした。手前のピークである神楽ヶ峰からは見えるはずの苗場山は霧の向こうだ。ここからいったん降りて登り返さなければならないが、色とりどりのお花畑が広がり、癒される。最後の登りにさしかかると、先行した人たちが次々に下山してくる。この天気なので、頂上に着いたらサッサと帰ることにしたのだろう。それなら、なおのこと急ぐ意味はないと、腹を決めてのろのろ進む。

急に緩やかになったと思うと眼前に湿原が広がってきた。霧のため遠くまで見通せないが幻想的な光景だ。山頂標識までの間は池塘を眺めながらの散歩だ。これが見られただけでも来た甲斐があるというものだ。標識のすぐ裏に山頂ヒュッテがある。ここでコーヒーでも飲もうかと思ったら、感染対策のため宿泊者以外は入館禁止の表示。仕方がないが、土産すら売って貰えない。脇のテーブルは使えるのでここで昼食にした。雨は小降りでも風もなく寒くはない。

時間はあまりないが、折角なので付近を散策してから帰ることにした。すると、雨が上がり、少しずつ空が明るくなってきた。よしとばかり、赤湯温泉への下山口の際まで歩いてみることにした。池塘は生暖かく流れは赤い色をしている。麓に赤湯温泉があるくらいだからここでも少々温泉が湧いているのかもしれない。取って返す



と霧が晴れ山頂の平坦な領域が概ね見通せるようになってきた。景色を独占しながら歩けたので、ゆっくり来たご褒美をもらった気分。下山するころには青空があちこち覗き始めた。帰りは靴が泥まみれになりながらの長い下りだったが、乾いた空気でも気持ちよかった。

結局この日、関東甲信地方は梅雨明けしたが、ここはまだだったようだ。(記：OT)

CT：自宅 3：20＝(自動車)＝碓川登山口駐車場 7：40-中ノ芝 9：55/10：05-神楽ヶ峰 10：30-苗場山 12：40/13：20-周辺散策 14：40-神楽ヶ峰 16：00-中ノ芝 16：30-碓川登山口駐車場 18：35＝(自動車)＝自宅